



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA  
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

# The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-201 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「より良い明日のために今日を築く」 “Building today for a better tomorrow”
アジア地域会長主題	「アクション！」 “Action!”
西日本区理事主題	「風となれ、ひかりとなれ」
中部部長主題	「輪を広げ 明るく楽しく 元気よく YMCAとともに」
金沢クラブ会長主題	「愛し合い 助け合い 楽しい仲間づくり！ ～YMCAとEMC活動の充実を～」

## 2019 11月間強調 Public Relations Wellness

### 今月の聖句 (数澤輝夫君)

希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。

ローマの信徒への手紙 5章5節

### 11月強調月間

ワイズデーを利用して、地域の人やマスメディアを巻き込んで社会的認知度を高めましょう！

加藤信一 広報・情報委員長 (京都トップス)

### 11月例会 プログラム

とき 2019年11月21日 (Thu.) 18:30~20:30  
 ところ 金沢ニューグランドホテル  
 会費 ¥3,000 (会員は無料) ¥2,000円 (メネット)

司会 西 信之君  
 開会・点鐘 山内ミハル会長  
 主 題 司 会 者  
 ワイズソング 一 同  
 今月の聖句 数澤輝夫君  
 ハッピーバースデー 山内ミハル会長  
 ゲスト紹介 山内ミハル会長  
 食前の感謝 吉川與志子さん  
 スピーチ 北村心宙君  
 “カナダへの留学”

委員会報告 各 委 員  
 ニコニコタイム 北 肇 夫 君  
 YMCAの歌 一 同  
 閉会・点鐘 山内ミハル会長

### 10月 クラブ活動状況

#### 第1例会 (10月17日 Thu.)

メ ン：朝倉、伊藤、数澤、北、幸正、西、山内  
 吉川 (8名)  
 メキップ：なし (0名)  
 出席率 100% 充足率 175%  
 メネット：朝倉、伊藤、 (2名)  
 ゲスト：角谷氏、影山氏、皆森さん、吉本さん (4名)

#### 第2例会 (10月1日 Tue.)

メ ン：朝倉、伊藤、数澤、北、幸正、山内 (6名)  
 メネット：朝倉、数澤 (2名)

ニコニコタイム 12,000円  
 クラブファンド 累計 201,000円  
**BFポイント**  
 切手 0g 累計 2,210g  
 現金 0円 累計 0円

会 長 山内ミハル 書 記 西 信之  
 直前会長 幸正一誠 会 計 朝倉みゆき  
 副会長 数澤輝夫 ネット会長 数澤淑子  
 伊藤仁信 ネット会計 伊藤悦子

第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30  
 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311  
 第二例会：毎月1日 18:30~20:00  
 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

## 私の青春

伊藤 仁信

私は昭和一桁生まれですが、如何にして私の心や身が形成されたか、されてきたか何故か大変気掛かりになってきました。これまで全くなかったことですが、早速今日まで私の心身を育ててくれた要因を探ってみることにしました。その要因は沢山あると思いますが、基本的な要因だろうと思われるものを探すことにいたしました。その結果、要因は大きく分けて心身（精神・体）の二つが浮かび上がってきました。

身ですが、幼少のころの私は、いわゆる虚弱体質で自分も大変だったが両親はもっと心配し大変だったことと思います。幼少の頃を知っている人達は、多分私を長生きできないだろうと感じていたことと思います。今知ったなら吃驚するだろうと思います。それが中学生になると汽車通だったので、時間通りの生活をしないと学校にも帰宅も出来ませんでした。さらに体が弱いのに運動好きだったので最終便が多かったようです。帰宅すると物作りが好きで、特に模型電車、ラジオ（真空管式）などを作っていました。要は規則正しい生活と適度の運動が身を変化させたようです（もちろん勉学にも精を出しました？）。それでも季節の変わり目などに、体調を崩しましたが、欠席はしませんでしたので私も吃驚しました。

こんな状態が十数年続きその間に就職、結婚までしましたが、子供ができてからは子供中心の生活に変わり、毎日が「てんやわんや」の状態、「アット言う間」に孫も独立して生活しているような時に到達していました。この間は、複雑で分析・纏めるのに時間が掛かるし紙面の関係もあり割愛させていただきます。これからは令和の時代に突入していきますが、物事の経過を表現するのが非常に早く光の速度で計算できる時代になり、すでに平成からはこのような時代に入っておりますが、逆に平均寿命は昭和時代より30年以上も長くなり10、20年一昔と言われた昭和の人間には大変目まぐるしく、いつも置いて行かれる感じがし、さらにこれからはもっと激しくなるだろうから昭和生まれは大変です。

次に、心について探ってみます。身を支えるには精神的な支えも必要ですが、身を鍛えられているうちに自然に心も鍛えられていたように思います。心の原点を探ってみると、どうも聖書と青

春という二つの字句が浮かんできました。これが私を今日まで支えてくれたのだと思います。聖書については別に述べたいと思いますが、ここでは青春について少し分析して探ってみました。今でも「青春 *Youth*」（以下「青春」と表記）という題名の本が部屋の片隅に

置かれていますが、これが私の心の原点のようです。この字句そのものは普通の日本語で辞書などには「若い世代のもの・若者の特権」などと書かれておりますが、「青春」とは「人生の若い期間だけを言うのではなく一生の中の何処でも持ち続けることができるものだ」と書かれております。御存じの方は沢山おるとと思いますが、どうもこれに惹かれたようです。この本の原作者は米国の詩人サムエル・ウルマンであり、第2次世界大戦の終戦後の日本を統括した責任者であった米国人のマッカーサーが持っており、これを見たり聞いたりした当時の日本の政・財界の錚々たる面々もこれを愛唱したため日本中に広まったそうです。後に政・財界の「青春会」や歌の「千の風にのって」にも繋がれたそうですが、主旨も原作より多少似て非なるものともなったそうです。時間的に私はそれ以前に、ある書店で見つけた文庫本くらいの本ですが詩の主旨に完全に心を奪われ感銘し共感したので心の詩（師）とするようになったようです。

肝心なのは「青春」の具体的な内容ですが集約してみると、「いつでも驚き・剛毅・探求・歓喜・興味などを心の核として持ち続ける」ことができるかどうか左右されるようです。最低一つでも持ち続けられるうちは青春であり、できない者は若いだけで青春とは言えないそうです。私は最後の興味にいつも心を奪われますが、悪友たちは彼の「野次馬根性が出た」と話のタネにしておりますがそれでも私は満足です（雑学もその一つ）。

大部省略いたしました、「青春」を失ってしまえば心身共に老いが始まり早々にあの世からのお招きを受けることとなります。もちろん自分一人だけのことではなく、身近にいる家族はじめ知人・友人などと共に青春を維持し心身共に健康な人生を維持して謳歌し、まだまだ「お呼びでない」と言われるような人生を過ごしていきたいと思っている今日この頃です。

（参考書：原作 サムエル・ウルマン、訳 新井満「青春 *Youth*」）

## 【10月例会の報告】

10月は小松市で“だし”の専門店(有)ふる里の味すみげんの6代目社長 角谷 亮氏にスピーチをお願いしました。日頃つつい市販の合成された、化学調味料等に頼ってしまいがちな私たちですが、改めてだし文化について考えさせられました。以下に講演趣旨をご本人にまとめて頂きました。

### 《講演を終えて》

2019年10月17日(木)、“日本が誇るだし文化を学ぼう”と題し講演を執り行いました。

そもそも「だし」とは何なのか?といった話から始まり、日本独自のだし素材である昆布・かつお節・煮干しについて、それぞれの特徴や種類の違い、使い方の違いを皆様に学んで頂きました。

飽食の時代となり、以前は家庭に当たり前にあっただしの文化を実際に体験していただくことで、世界無形文化遺産にも選ばれた日本の食の文化を再度見直して欲しいとの思いからこのような講演をさせて頂きました。



種々の昆布、カツオ節、カツオ節削り器、昆布とかつおからとっただしを前に講演される角谷氏

だしとは料理の土台となるものであること。だしをしっかりと利用することで、余計な調味料の量を減らすことができ、健康的な食生活を送れること。だしを難しく考えずに、だしや食材の持つ3つのうま味成分(グルタミン酸・イノシン酸・グアニル酸)の組み合わせを考えることでうま味の相乗効果を得られること。このようなだしの基本的な考え方をまずは学んで頂きました。

ただ講演を聞いて頂くだけではなく、昆布の実物大のぬいぐるみや、かつお節ができる過程のわ

かるぬいぐるみを使った説明。そして、削りたてのかつお節の香りの良さ、美味しさを五感で楽しんでいただきました。香川県伊吹島沖産の新鮮な伊吹いりこもお召し上がりいただき、それぞれのだし素材の持つパワーを実感して頂けたかと思えます。



布で作った昆布の模型?

また、今回の講演では天然一等利尻昆布と鹿児島指宿産の2年物本枯れ節を使用した合わせ1番だしを皆様に試飲していただきました。調味料を全く入れていない純粋なだしでしたが、その美味しさを存分に感じて頂けたかと思っています。

良質な素材を使っただしは、そうではないだしと比べて脳の満腹中枢を刺激してくれます。市販の味の入った顆粒だしなどは確かに食べると美味しいのですが、それは脳をごまかしている美味しさです。良質な素材を使っただしは、脳を満足させ、少量の調味料を引き立ててくれます。食べすぎや、調味料の使い過ぎを抑制してくれる、そのようなお話もさせて頂きました。

講演の最後には様々な質問をいただき、色々な視点からの質問は大変勉強になりました。今回の



公演を機に、今後少しでも皆様の生活の中に「だし」が活用される一助となれば嬉しく思います。この度は貴重な体験を頂き、ありがとうございます。

有限会社ふる里の味すみげん 角谷 亮



講師の角谷氏を囲んで

### 【芋煮会報告】

去る10月26日（土）、メネット会恒例の芋煮会が内川スポーツ広場で開催されました。芋煮会の会場が内川に定着してもう14年位になるでしょうか、最初は犀川上流の河原でした。河原に転がっている石で竈作りから始め、燃料は流木の小枝を拾い集めて、青空の下でせせらぎを聴きながら、誠に野趣豊かな芋煮会でしたが、飲み水やトイレ事情などなかなか困難なことも…。その後、津幡森林公園へ場所を移して数年、しかし距離的に遠く、施設の利用期間が10月末で閉鎖され、11月以降は使用できない、さらに雨天の場合は逃げ込むところがないなど色々不都合が重なり、新天地を求めて現在の「内川スポーツ広場」で開催されるようになりました。かまどなど設備も整っており、何より無料で利用出来るのも有り難く、雨天でも逃げ込めるレストハウスや会議室があるのも安心です。現に何度か悪天候に見舞われ、止む無く大鍋を運んで屋内で行ったこともありました。

さて、今年の芋煮会は従来とは趣旨を異にして開催されました。メネット会行事の芋煮会の趣旨はYMCAの子どもたちを招待することでしたが、昨今では呼びかけても子どもの参加がなく、メンバーとたまにゲストの参加があるのみです。これはこれで楽しい芋煮会でしたが、やはり楽しいだけではなく、ワイズメン活動本来の地域への奉仕を目的とする行事にしたい思いがありました。

そこで今年度は、8月にJCの協力依頼に応えて行った“ソトゴハン”（金沢クラブブリテン9月号に詳細を掲載）に参加した方々のみに案内チラシを配布したところ、早速応募があり、ここ数年10余名で行ってきた行事でしたが、今回は参

加者計36名（大人23名、子ども13名）と近年にない大勢の参加に嬉しい悲鳴をあげました。



### 開会礼拝

買い物、役割分担など参加ワイズ・メネット全員が準備に当たりました。鍋は一つしかなかったため、山内会長の寄付で大鍋を一つ買い足しました。

当日は心配されたお天気にも恵まれ、お母さんたちも張り切って葱を切ったり、飯盒の準備をしたりと臨機応変に手伝って下さり、かまど3基を使って大鍋2つ、ダッチオーブン1つでダイナミックな芋煮鍋は大変美味しく出来上がりました。かまど奉行のメンの面々、毎度のことながら本当にご苦労様でした。ただ、飯盒4つのうち3つは山内会長のお米の計量間違いから柔らかいご飯になってしまいましたが、分量も少なかったため、近所のコンビニでおにぎりを買い足すというハプニングがありました。



### ご飯やお漬物を分け合って

### 三つの大鍋にはたっぷりのいも煮が…

それでも「やわらかいご飯でいいよ」とか「柔らかいの好きだから…」と言ってくくださる優しさに、慰められた山内会長でした。美味しいお漬物を2日掛りで沢山作って下さった朝倉メンにも感謝します。



昨夜から降っていた雨も止み、広い芝生の上、思い思いのグループで、おしゃべりも弾む

熾火で焼いた五郎島金時の焼き芋もホッカホカに焼け、芋煮鍋でお腹いっぱいのはずなのに、みんな美味しそうにほおぼっていました。



### 五郎島金時の甘くてホクホク焼きいも

子どもたちは、広い芝生で大学生や高校生の学生リーダーとボールあそびやシャボン玉遊び、二人乗りの自転車乗りと盛りだくさん楽しんでいました。



### シャボン玉に興じる大学生リーダーと子どもたち

「また来年も来たい！」という嬉しい声に疲れも吹っ飛び、反省点もいくつかありましたが、ほぼ成功裏に終えることができました。皆様本当にお疲れ様でした。(数澤淑子・山内ミハル 記)



### みんなで記念の写真

#### 【10月第二例会の報告】

日時：10月1日（火）18：30～21：00

場所：金沢ニューグランドホテル 犀江

①中部部長より、次期会長、次期中部メネット主査の氏名の報告依頼があり、協議の結果

次期会長 山内ミハル

次期中部メネット主査 数澤淑子

と決定し、部長に報告。

②農園の件

ワイズとして次年度協力するかどうか検討

(継続審議)

③理事懇談会について

場所 金沢長土塀青少年交流センター

日時 11月2日(土)

14：00～16：00 理事懇談会

17：30～19：30 懇親会

於 KKR ホテル金沢

④理事懇談会が入ったため、秋の特別例会は中止

⑤“いも煮会”の担当を決めた。

(山内ミハル 記)

### ~~~~~お知らせ~~~~~

#### ☆TOF 献金について

献金一人 1,400円を集めます。

#### Happy Birthday

伊藤 悦子さん 11月1日

#### 12月の担当

聖 句 勇 牧師  
ブリテン 幸正 一誠君  
朝倉 秀之君



## 「たかがメダカ、されどめだか」

いつ頃から家にメダカを飼うようになったのか、記憶が定かではないのですが多分7、8年くらい前、生協の共同購入をしていた頃、我が家の駐車場が荷下ろし場となり、毎週配達日には3～4軒の主婦が注文の品を受け取りに集まりました。わずかな時間ですが、近隣の情報交換とコミュニケーションの場ともなっていました。配達担当者が手際よく、キビキビとしてとても好感の持てる女性でした。親しくなるとたまにはプライベートな話もするようになり、結婚して10年近いが子宝に恵まれないという悩みもちらりと、けれどもとても明るくて「子どもはいないけどメダカが沢山いるの」とメダカを育てるのが得意で、今年も沢山卵を産んで次々と孵していると自慢、

「欲しい人はいませんか？可愛いよ！！」というわけで、我が家へ貰われてきた子たちがすくすく成長し、家族が増えて、餌を与えるのが毎日の夫婦の日課となりました。生き物や植物は生活に潤いと癒しを与えてくれます。ペットと呼ばれる動物は旅行などで家を空けることが出来ませんが、メダカは数日餌を与えなくても、水中のプランクトンなどを食べて生きています。冬はほとんど冬眠状態で、春先の水温むころには石や藻の下から、生き延びた子たちがスイスイ泳ぎ出すと本当に嬉しいものです。ある年、冬越しが出来なくて全滅してしまっただけがありました。そうなる寂しいもので、すぐ買おうと思ったら夫がメダカは買うものじゃない、川ですくうものだと言って捕虫網を買って来ました。捕虫網でメダカすくい？セミやトンボじゃあるまいしと思いながら待っていましたが、一向にメダカすくいに出かける気配がありません。昔は家の前の小川でドジョウやメダカが生息していたので簡単に捕れると思ったのでしょう。しかし今は雨水を流す側溝があるだけ、メダカの学校はとうの昔廃校になったので

す。結局ホームセンターで一番メダカらしい（値段も安い）のを10匹取り交えて8匹買い求めました。メダカは今ブームらしく、沢山の種類のメダカが金魚より広い売り場を占領しています。ネットでも驚くような値段で売られています。長い尾ひれをヒラヒラさせた華麗なメダカや、顔立ちが凛とした「謙信」という名の偉そうなやつ（こいつは10匹2セットで、なんと28,000円！）、こんなメダカを買う酔狂な人がいるのですね。我が家の愛するメダカたちは自然交配で今年も沢山孵化し、火鉢や私の作品（陶器）の中で元気にスイスイ泳ぎ回っています。欲しい方には喜んでお分けしています。

そうそう、最初にメダカを下さった生協のお姉さんの後日談ですが、なんとその後めでたく赤ちゃんに恵まれました。もう小学生になっているはず、お幸せに！（数澤淑子記）

## メネット会のお知らせ

10月例会でスピーチをして頂いた角谷亮氏のお店「ふるさとの味すみげん」へお蕎麦を食べに行きます。メン・メネット奮ってご参加を！車に乗り合わせて行きたいと思います。

お申込みは数澤淑子（090-4324-0036）まで。

「ふるさとの味すみげん」

〒923-0924 小松市三日市町9

☎0761-22-4214

日時：11月22日（金） 12:00～

食事の後、木場潟へ行きます。

お天気が良ければ、美しい白山の雄姿が観られます。

潟のほたりのおしゃれなカフェでお茶もしたいですね。周囲の山々の紅葉も期待できます。

～数澤淑子～